

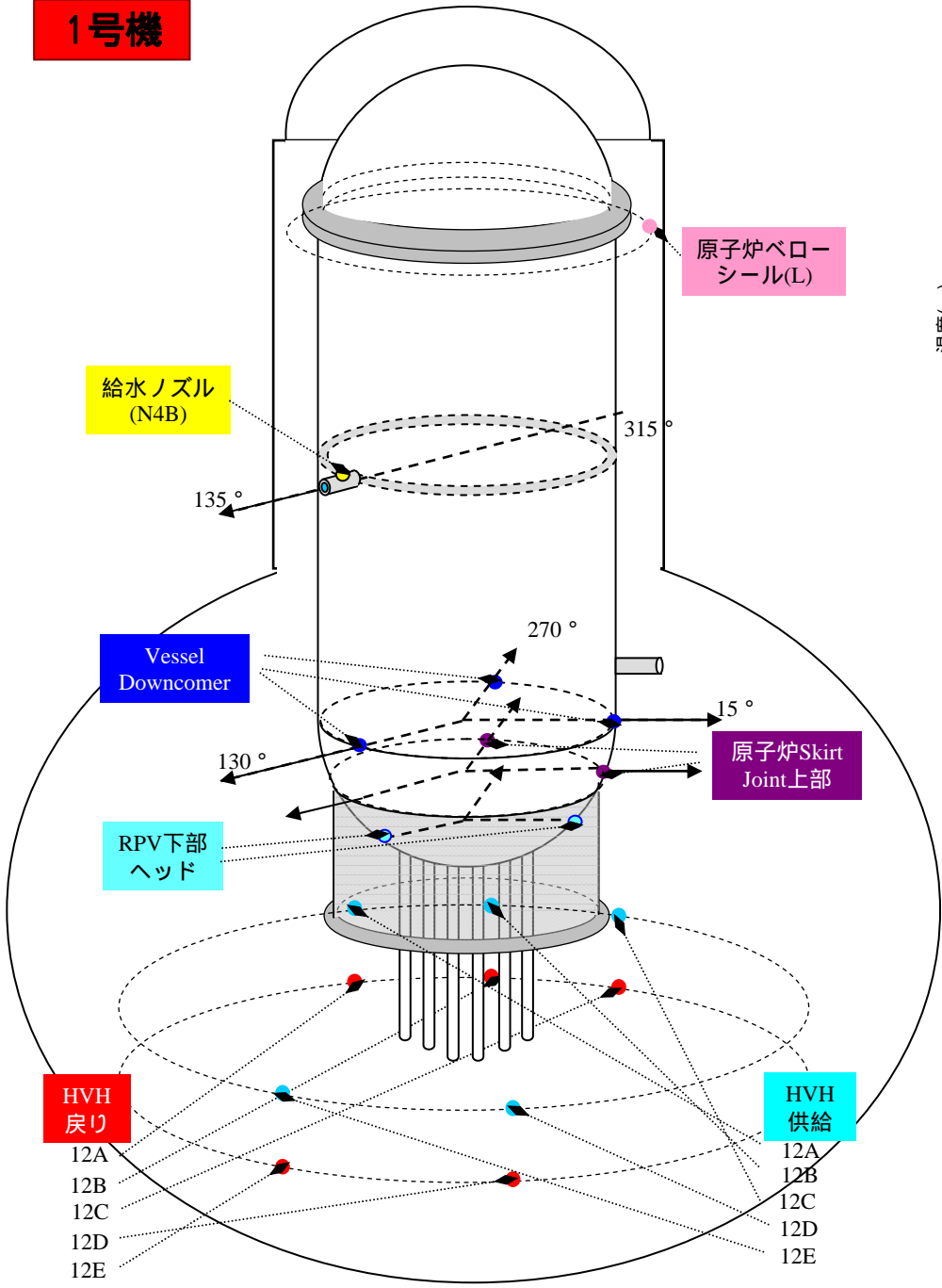
# 福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

号機	1号機		2号機		3号機		4号機	
	11月27日	12月25日	11月27日	12月25日	11月27日	12月25日	11月27日	12月25日
原子炉注水状況	給水系：2.5m <sup>3</sup> /h CS系：1.9m <sup>3</sup> /h (11/27 11:00 現在)	給水系：2.5m <sup>3</sup> /h CS系：2.0m <sup>3</sup> /h (12/25 11:00 現在)	給水系：1.9m <sup>3</sup> /h CS系：3.4m <sup>3</sup> /h (11/27 11:00 現在)	給水系：1.9m <sup>3</sup> /h CS系：3.3m <sup>3</sup> /h (12/25 11:00 現在)	給水系：2.0m <sup>3</sup> /h CS系：3.4m <sup>3</sup> /h (11/27 11:00 現在)	給水系：1.9m <sup>3</sup> /h CS系：3.5m <sup>3</sup> /h (12/25 11:00 現在)		
原子炉压力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1) : 23.7 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1) : 23.8 VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2) : 23.8 (11/27 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1) : 19.5 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1) : 19.6 VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2) : 19.5 (12/25 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3) : 32.6 R P V温度 (TE-2-3-69R) : 30.7 (11/27 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3) : 28.0 R P V温度 (TE-2-3-69R) : 26.2 (12/25 11:00 現在)	RPV下部ヘッド温度 (TE-2-3-69L1) : 31.8 スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1) : 31.4 RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1) : 28.2 (11/27 11:00 現在)	RPV下部ヘッド温度 (TE-2-3-69L1) : 27.3 スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1) : 27.0 RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1) : 24.0 (12/25 11:00 現在)		
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A) : 24.3 HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F) : 23.5 (11/27 11:00 現在)	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A) : 20.0 HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F) : 19.2 (12/25 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B) : 32.7 SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1) : 32.9 (11/27 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B) : 28.1 SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2- 16B (TE-16-114G#1) : 28.3 (12/25 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A) : 30.2 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1) : 28.8 (11/27 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A) : 25.8 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1) : 24.2 (12/25 11:00 現在)		
原子炉格納容器 圧力	105.9kPa abs (11/27 11:00 現在)	107.5kPa abs (12/25 11:00 現在)	7.63kPa g (11/27 11:00 現在)	4.53kPa g (12/25 11:00 現在)	0.24kPa g (11/27 11:00 現在)	0.22kPa g (12/25 11:00 現在)		
窒素封入流量 1	RPV : 28.19Nm <sup>3</sup> /h PCV : -Nm <sup>3</sup> /h 2 (11/27 11:00 現在)	RPV : 28.42Nm <sup>3</sup> /h PCV : -Nm <sup>3</sup> /h 2 (12/25 11:00 現在)	RPV : 15.46Nm <sup>3</sup> /h PCV : -Nm <sup>3</sup> /h 2 (11/27 11:00 現在)	RPV : 15.75Nm <sup>3</sup> /h PCV : -Nm <sup>3</sup> /h 2 (12/25 11:00 現在)	RPV : 16.41Nm <sup>3</sup> /h PCV : -Nm <sup>3</sup> /h 2 (11/27 11:00 現在)	RPV : 16.70Nm <sup>3</sup> /h PCV : -Nm <sup>3</sup> /h 2 (12/25 11:00 現在)		
原子炉格納容器 水素濃度 3	A系 : 0.06vol% B系 : 0.04vol% (11/27 11:00 現在)	A系 : 0.05vol% B系 : 0.07vol% (12/25 11:00 現在)	A系 : 0.06vol% B系 : 0.05vol% (11/27 11:00 現在)	A系 : 0.07vol% B系 : 0.07vol% (12/25 11:00 現在)	A系 : 0.10vol% B系 : 0.07vol% (11/27 11:00 現在)	A系 : 0.11vol% B系 : 0.10vol% (12/25 11:00 現在)		
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135)	A系 : 1.46E-03Bq/cm <sup>3</sup> B系 : 1.61E-03Bq/cm <sup>3</sup> (11/27 11:00 現在)	A系 : 1.88E-03Bq/cm <sup>3</sup> B系 : 1.39E-03Bq/cm <sup>3</sup> (12/25 11:00 現在)	A系 : ND(2.2E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系 : ND(2.1E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (11/27 11:00 現在)	A系 : ND(2.2E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系 : ND(2.1E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (12/25 11:00 現在)	A系 : ND(3.2E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系 : ND(3.2E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (11/27 11:00 現在)	A系 : ND(3.2E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) B系 : ND(3.2E-01Bq/cm <sup>3</sup> 以下) (12/25 11:00 現在)		
使用済燃料 プール水温度	17.5 (11/27 11:00 現在)	13.0 (12/25 11:00 現在)	15.6 (11/27 11:00 現在)	11.8 (12/25 11:00 現在)	14.4 (11/27 11:00 現在)	10.5 4 (12/25 5:00 現在)	22.9 (11/27 11:00 現在)	17.6 (12/25 11:00 現在)
FPC スキマサージタンク 水位	2.71m (11/27 11:00 現在)	3.24m (12/25 11:00 現在)	2.93m (11/27 11:00 現在)	2.23m (12/25 11:00 現在)	4.82m (11/27 11:00 現在)	3.58m 4 (12/25 5:00 現在)	62.99 × 100mm (11/27 11:00 現在)	55.06 × 100mm (12/25 11:00 現在)

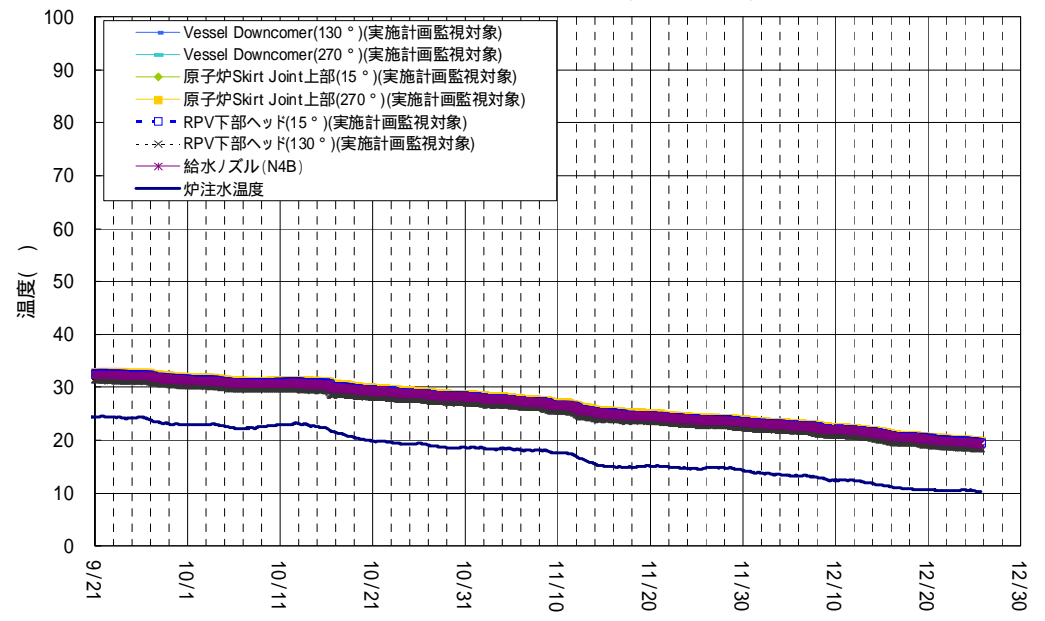
1: 使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する。  
 2: 窒素封入停止中  
 3: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナス表示される場合があるため)  
 4: 3号機使用済燃料プール代替冷却システム停止中の為、3号機使用済燃料プール水温度とFPCスキマサージタンク水位に関しては至近のデータを記載。なお、使用済燃料プールの温度上昇率は0.125 /h程度と評価。

注水冷却を継続することにより、1～3号機の原子炉压力容器底部温度、格納容器気相部温度は、号機や温度計の位置によって異なるものの、至近1ヶ月において、約20～約40で推移。  
 格納容器内圧力や格納容器からの放射性物質の放出量等のパラメータについては有意な変動はなく、冷却状態の異常や臨界等の兆候は確認されていない。  
 以上より、総合的に冷温停止状態を維持しており、原子炉が安定状態にあることを確認。

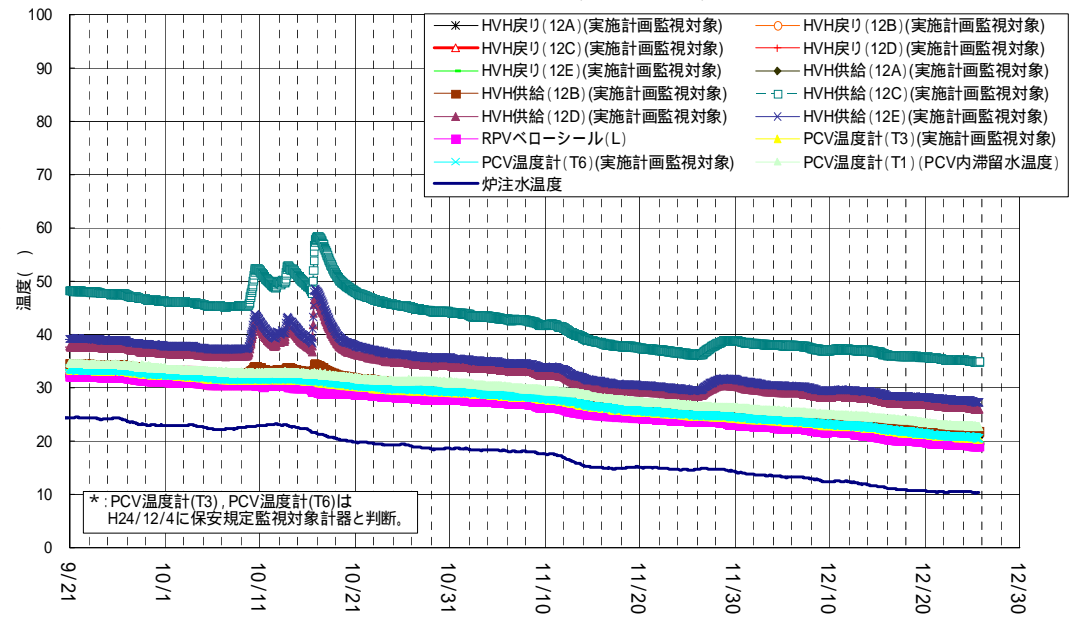
# 1号機



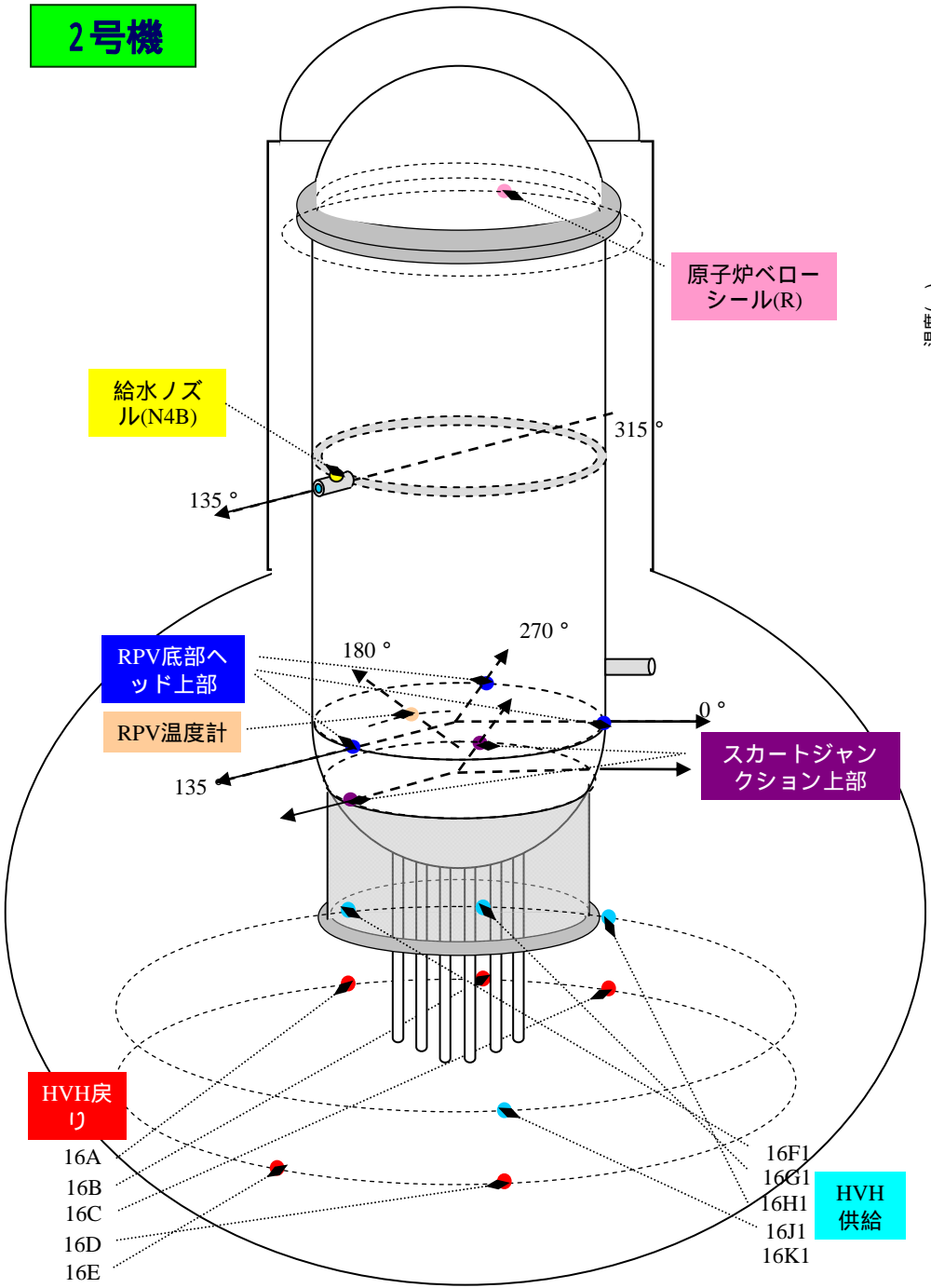
1号機 原子炉压力容器まわり温度 (9/21 ~ 12/25)



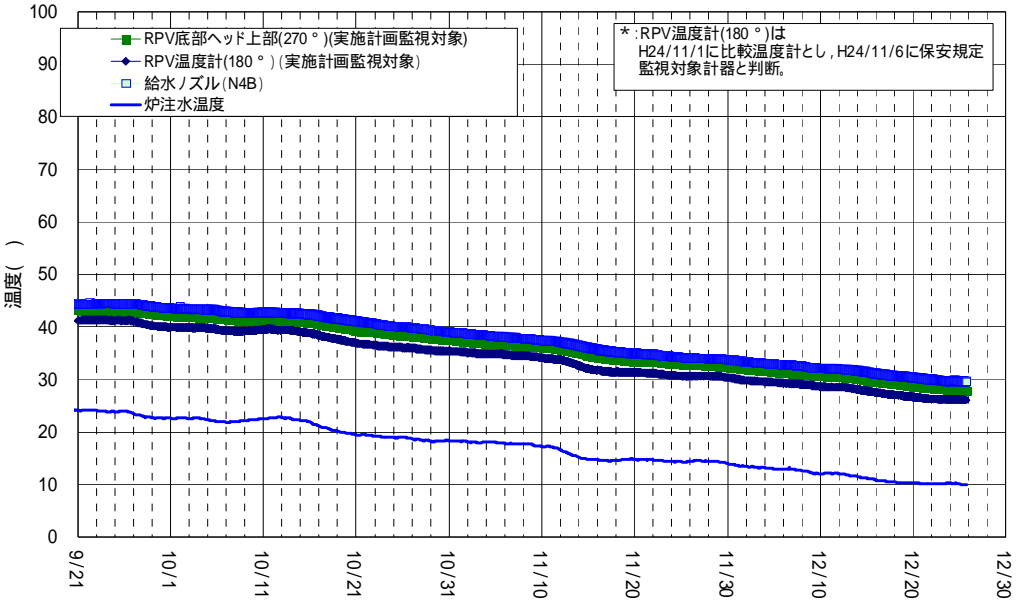
1号機 D/W雰囲気温度 (9/21 ~ 12/25)



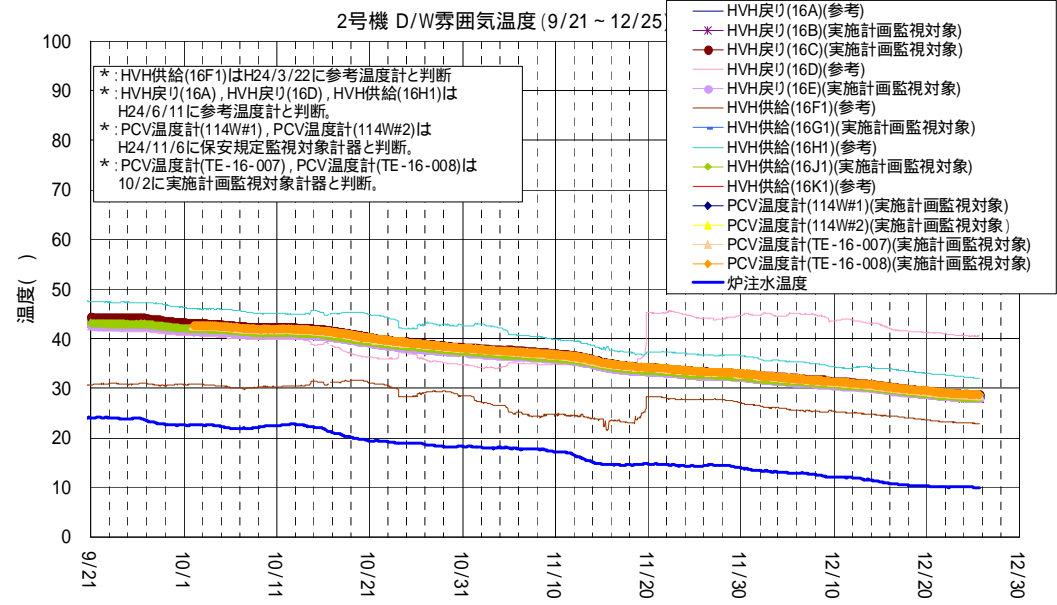
2号機



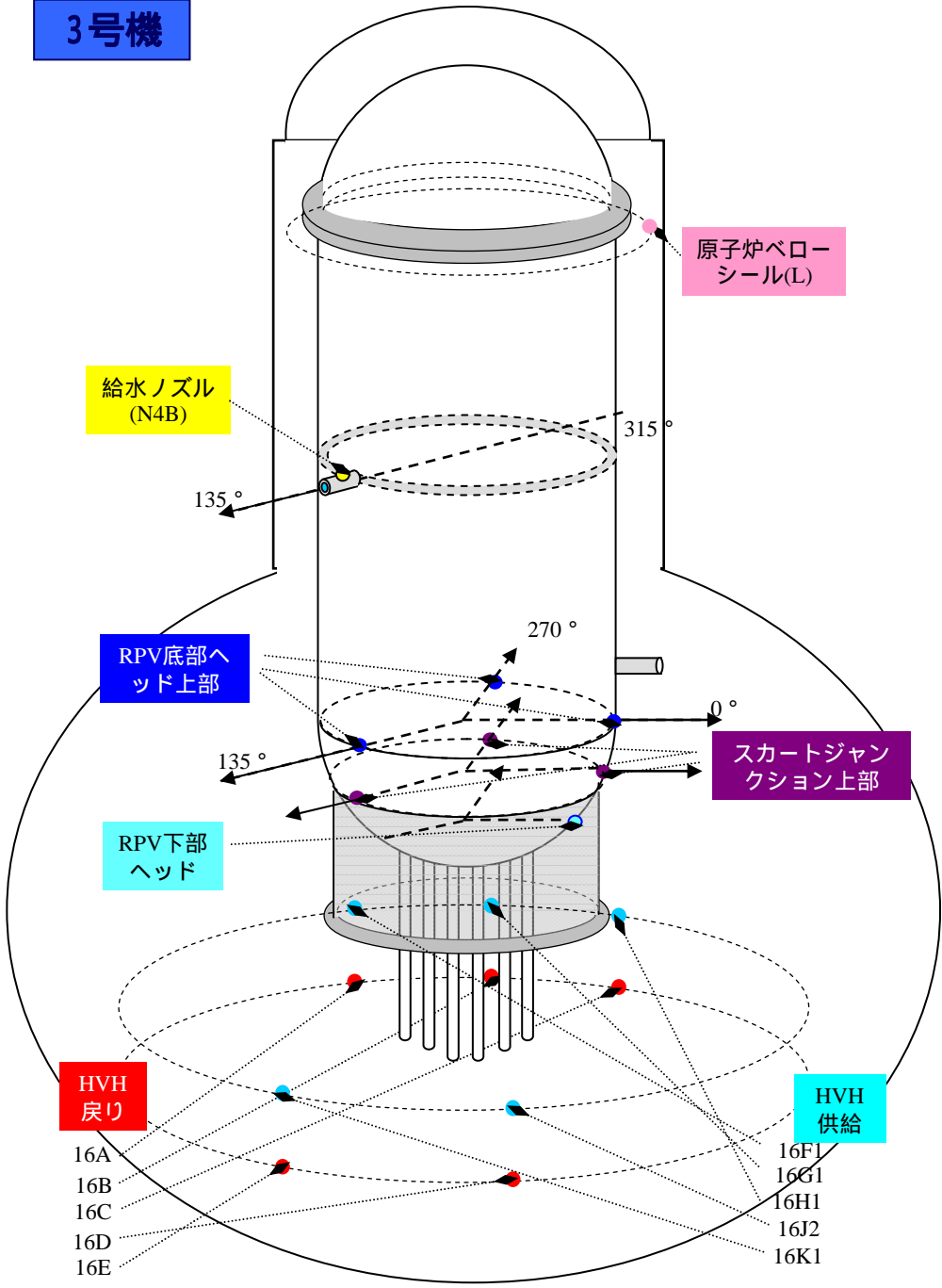
2号機 原子炉压力容器まわり温度 (9/21 ~ 12/25)



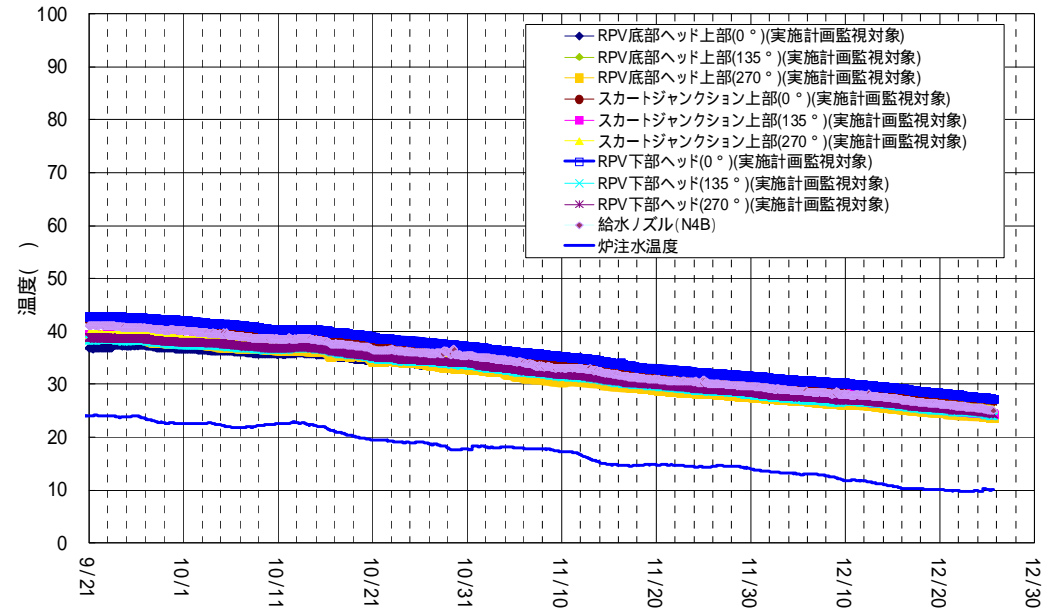
2号機 D/W雰囲気温度 (9/21 ~ 12/25)



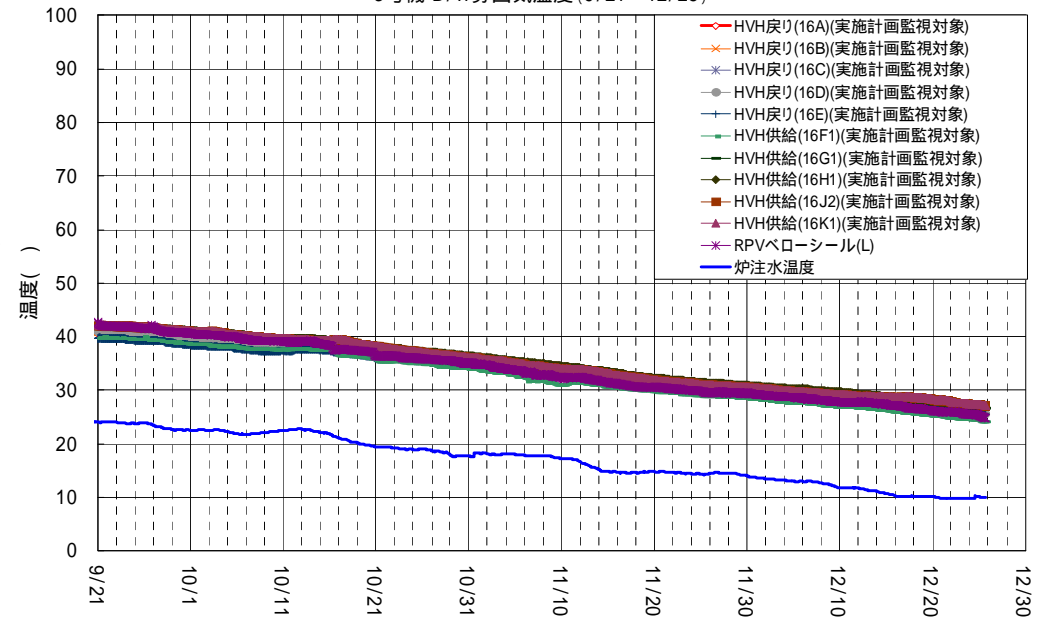
# 3号機



3号機 原子炉压力容器まわり温度 (9/21 ~ 12/25)



3号機 D/W雰囲気温度 (9/21 ~ 12/25)



滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

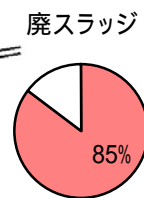
- 建屋内滞留水水位及び貯蔵量
- ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
- ・処理装置(第二セシウム吸着装置)は運転中
- 廃棄物発生量
- ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし
- 処理水タンク貯蔵量
- ・淡水化装置による処理により、淡水受タンク及び濃縮塩水タンク貯蔵量は変動あり
- ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- 5,6号機滞留水貯蔵量
- ・構内散水によりF・Hエリア等タンク貯蔵量は変動あり

建屋内滞留水水位及び貯蔵量

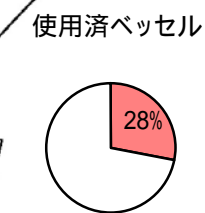
施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約13,700m <sup>3</sup>	OP.2,617
2号機	約20,200m <sup>3</sup>	OP.2,849
3号機	約23,200m <sup>3</sup>	OP.2,990
4号機	約17,500m <sup>3</sup>	OP.2,921
合計	約74,600m <sup>3</sup>	

貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約14,520m <sup>3</sup>	OP.4,049
高温焼却炉建屋	約2,970m <sup>3</sup>	OP.1,877
合計	約17,490m <sup>3</sup>	

廃棄物発生量



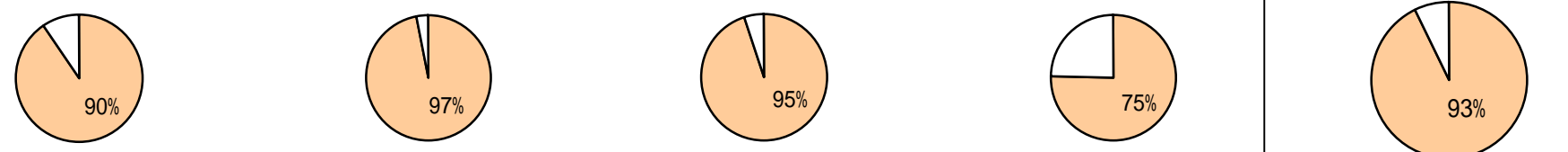
保管量:597/700[m3] 3



保管量:708/2514体 1

- 中低レベル(既設)
- 中低レベル(追設予定)
- 高レベル(既設)
- 高レベル(追設予定)
- 移送ホース布設ルート
- 淡水注水ルート

処理水タンク貯蔵量



水量:28410/31400[m3] 2,3 | 水量:9205/9500[m3] 2,3 | 水量:331139/348200[m3] 2,3,6 | 水量:33782/44800[m3] 2,3,5 | 水量:402536/433900[m3] 2,3,5,6

処理水タンク貯蔵量

タンク堰内水の一時的貯留量  
 ・ノッチタンク群 約3000/約4000[m3]  
 ・地下貯水槽 約1500/約4000[m3]  
 ・地下貯水槽 約2100/約4000[m3]

F・Hエリア等タンク

水量:18699/18900[m3] 2,3,4

5,6号機滞留水貯蔵量

タンク総容量

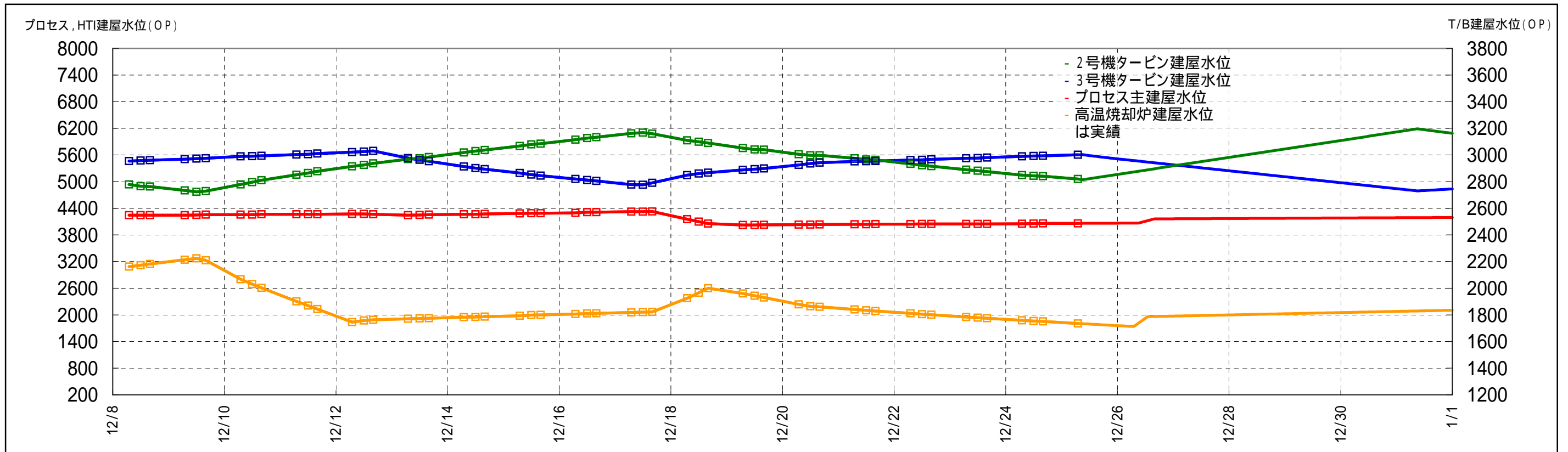
水量:421235/452800[m3] 2,3,6

貯蔵量合計(+)

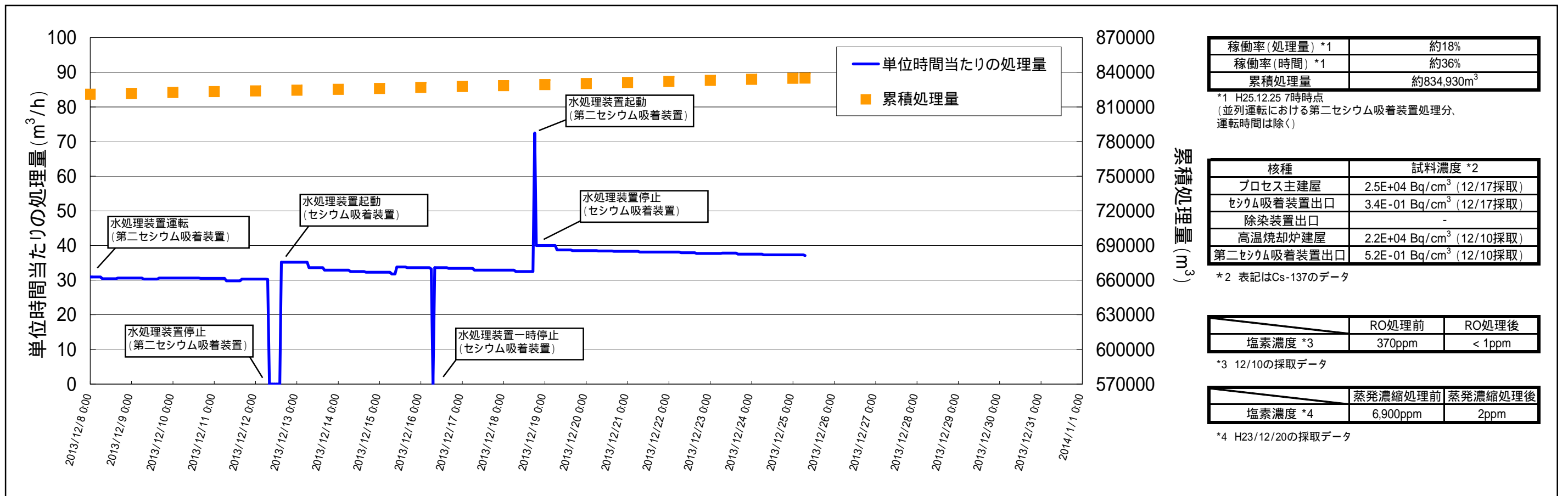
炉注水量(目標値)  
 1号機:108m<sup>3</sup>/日  
 2号機:132m<sup>3</sup>/日  
 3号機:132m<sup>3</sup>/日

- 1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む
- 2 装置稼動中につき水位が静定しないため参考扱い
- 3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)
- 4 Hエリアのタンク(約3,000m<sup>3</sup>分)を5,6号機滞留水に使用
- 5 多核種除去設備(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵
- 6 地下貯水槽を含まない。ろ過水タンクの貯蔵容量(4,600m<sup>3</sup>)を含む

2, 3号機タービン建屋及びプロセス主建屋, 高温焼却炉建屋の水位グラフ



処理装置の稼働状況



## 各エリア別タンク一覧

### 1～4号機用汚染水貯蔵タンク

エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m <sup>3</sup> ]	タンク型	貯蔵水	備 考
B	5	450	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
	15	300	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
C	26	40	鋼製角型タンク(溶接)	濃縮塩水	
	52	40	鋼製角型タンク(溶接)	淡水	
	13	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
D	6	16	鋼製角型タンク(溶接)	淡水	
	19	35	鋼製角型タンク(溶接)	淡水	
	114	42	鋼製角型タンク(溶接)	淡水	
E	49	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
G1	72	100	鋼製横置きタンク(溶接) 土中埋設	淡水	
G3	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水	
	46	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	G3エリア70基中、46基について、用途を濃縮 塩水用とした
G4	15	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
	6	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水	G4エリア21基設置完了、内6基について用途を 多核種除去設備処理済水用とした
G5	8	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水	G5エリア8基設置完了
G6	37	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	漏えいが確認されたため、1基使用停止 38-1=37
H1	170	120	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮塩水	
	12	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
H2	100	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	
	28	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
H3	10	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	高線量箇所が確認されたため、1基使用停止 11-1=10
H4	20	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
	33	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	漏えいが確認されたこと等から、2基使用停止 35-2=33
H5	31	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
H6	24	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	
H8	16	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	
H9	12	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
ALPS	4	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水	
水処理	1	8000	No.1ろ過水タンク	濃縮塩水	側板の一部に変形が認められたため、耐震 評価を行い貯水限度を4600m <sup>3</sup> とした。

合計 968

(平成25年12月24日 現在)

下線部は前回報告からの変更点

### 高濃度滞留水受けタンク

G1	28	100	鋼製横置きタンク(溶接) 土中埋設	高濃度滞留水	非常用の受けタンクであり、現在未使用
----	----	-----	-------------------	--------	--------------------

### 地下水バイパス用タンク

H3	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	地下水	
----	---	------	------------------	-----	--

5, 6号機用汚染水貯蔵タンク

エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m <sup>3</sup> ]	タンク型	貯蔵水	備 考
F	6	35	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	
	6	42	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	
	4	110	鋼製角型タンク(溶接+フランジ接合)	5, 6号機滞留水	
	5	160	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	
	2	200	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	
	3	299	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	
	18	508	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	
	0	600	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	総数9基、内9基移設のため解体中 9-9=0
	5	1100	鋼製円筒型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	
	H4	3	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水

合計 52

(平成25年12月24日 現在)

下線部は前回報告からの変更点